

活動実施報告書(令和元年度)

名称: きずな保育園

所在地: 鹿児島市高麗町39-11

電話番号: 099-298-1171

4月:

取組内容

「身近な物、資源、水を大切に使う！」

身近な物や資源の大切さについて考え、
“水を出しっぱなしにしない。”
“トイレトーパーを取りすぎない。”
など簡単な目標を立てる。

取組結果・感想等

昨年度に引き続き、使用するトイレトーパーの長さの目安となるもの(きりんのディスプレイ)を貼ることで、子ども達が大切に使うことができた。
また、出しっぱなしになっている水道の水に気づいて止めに行ったり、子ども同士で声を掛け合ったりする姿が見られた。

活動の様子(写真等)



5月:

取組内容

「マイバッグを作ろう！」

ジップロックとすずらんテープを使用してマイバッグを作る。

取組結果・感想等

公園で拾った落ち葉や花、石などを今まではその都度、ビニール袋に入れて持ち帰っていたが、繰り返し使用できるマイバッグを作った。
公園や散歩に行くときは、肩から掛けて持って行き、嬉しそうに落ち葉や石などを入れる姿が見られた。現在も繰り返し使用している。

活動の様子(写真等)



6月:

取組内容

「夏祭りに向けておみこしを作ろう！」
廃品・廃材を使用して、おみこしを作る。

取組結果・感想等

段ボールやティッシュの箱、ラップの芯など廃品・
廃材を使用して夏祭りに向けておみこしを作った。
色を塗ったり、折り紙を貼ったりすることで、素敵な
飾りになり、子ども達も喜んでいました。
また、作る工程をお便りに載せたり、夏祭りに親
子で参加してもらうことで、保護者にも見ていただく
ことができた。

活動の様子(写真等)



7月:

取組内容

「牛乳パック・食品トレイを使って
水遊び用のおもちゃを作ろう！」

ペットボトルや牛乳パック、トレイを使って
水遊び・プール遊び用のおもちゃを作る。

取組結果・感想等

牛乳パックやペットボトル、プラスチック製のトレイなど、耐水性のある素材の廃材を選んで作ったので、水の中でも楽しく遊ぶことができた。
遊びの様子を保護者へ写真で紹介することで、家庭から廃材を持って来てくれる子どももいた。

活動の様子(写真等)



8月:

取組内容

「園庭の畑で野菜を育てよう！」

ミニトマト・ナス・レタス・パプリカなどの野菜の苗を植え、育てる。

取組結果・感想等

自分達で苗を植え、育てることを喜び、お世話をしたり、登降園時に畑を見に行き、声をかけたり観察したりする姿が見られた。
また、収穫の際はとても嬉しそうにしており苦手な野菜も「おいしい。」と嬉しそうに食べていた。

活動の様子(写真等)



9月:

取組内容

「廃品・廃材を使って遊ぼう！」

トイレトペーパーの芯や新聞紙を使って遊んだり、手作りの玩具を作ったりする。

取組結果・感想等

トイレトペーパーの芯を使って望遠鏡を作って遊んだり、新聞紙をちぎって魚釣りゲームの海を作ったりした。
また、園庭に大きな段ボールハウスを置くと楽しそうに遊ぶ姿が見られ、廃品が楽しい玩具や遊びに生まれ変わることを実感した。
作ったものを持ち帰ることで、保護者へも発信することができた。

活動の様子(写真等)



10月:

取組内容

「収穫する喜びを味わおう！」
芋掘り遠足に出かけたり、園庭の畑の芋を収穫する。

取組結果・感想等

芋掘り遠足に出かけたり、園庭の畑のさつまいもを収穫したりすることで、収穫する喜びを味わうことができた。収穫したさつまいもは園のおやつで食べ、とても喜んでいた。
また、上手く育たず、食べることができなかった小さなさつまいもは、芋スタンプにして遊んだ。

活動の様子(写真等)



11月:

取組内容

「食材・食事を作ってくれる人へ
感謝の気持ちを伝えよう！」
給食の食材を届けてくれるお店を訪問し、
日頃の感謝の気持ちを伝える。

取組結果・感想等

魚屋さん・お肉屋さんなど給食の食材を届けてくれるお店を訪問し、見学したり、お店の方のお話をきいたりして、とても興味を示していた。
実際にお店に行くことで食材の大切さや作ってくれる人への感謝の気持ちを持つことができた。

活動の様子(写真等)



12月:

取組内容

「レジ袋を再利用して凧を作ろう！」

レジ袋に絵を描いたり、装飾をしたりして凧を作り、公園で凧あげをする。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

レジ袋を再利用して、凧を作った。
凧製作用の土台を使用したり、カラービニールを使用して作ることもできるが、このように身近な物を使って作ることができることが分かった。
絵を描いたり、装飾をすることで、レジ袋が一人ひとり違う個性豊かな凧に生まれ変わった。

1月:

取組内容

「味噌作りを体験しよう！」

キンコー醤油さん指導の元、味噌作りを行った。
また、2月には作った味噌を使って味噌汁作りを行った。

活動の様子(写真等)



取組結果・感想等

キンコー醤油さんより味噌ができるまでの工程を教えてもらい、味噌作りを体験する。
工程に興味を示し、味噌作りを楽しんでいた。
また、完成した味噌を使って味噌汁を作り、味わいながら、残さず食べていた。
体験を通して、食事を口にするまでには、たくさんの方の手が関わっていることを知り、子ども達なりに感謝の気持ちを持つことができた。

2月:

取組内容

「廃品・廃材を使って品物を作り
お店屋さんごっこをしよう！」

牛乳パックやトレイ、空き箱等の廃品を使って
品物を作り、お店屋さんごっこをする。

取組結果・感想等

牛乳パックや新聞紙、食品用のトレイ、空き箱
などいろいろな廃品を使い、お店屋さんごっこの
の品物を作った。子ども同士でアイデアを出し合
い、楽しそうに作っていた。

普段はゴミとして捨ててしまう物も再利用
できること、素敵な作品に生まれ変わるこ
とを知ることができた。

活動の様子(写真等)



3月:

取組内容

「給食を残さず食べよう！」

自分の食べられる量を調節し、残さず食べる。

取組結果・感想等

自分で給食を配膳することで、一人ひとりが
自分の食べられる量を考えることができた。
また、子ども同士で食材について話をしたり
つくってくれる人への感謝の気持ちを持つ
ことができた。

活動の様子(写真等)



1年間取り組んだ感想・ご意見

今年度は、昨年度に引き続き、2年目となるエコ活動だった。年度初めに子ども達と昨年度の取り組みを振り返り、エコ保育所認定書が届くと、とてもはりきっていた。
なかなか計画通りに進めることができなかったが、普段何気なく行っていることがエコ活動につながっている、廃品や廃材が、少しの工夫で素敵な作品や遊びに生まれ変わることを実感したりすることができた。
また、エコ活動を通して、子ども達の中に「物を大切にする心」や「食事をする事への感謝の心」が芽生えたように思う。何か特別なことをしなくても普段の園生活の中でそのような気持ちを持つことが大きなエコにつながるのだということを知ることができた。
来年度も子ども達と一緒に、自分達にできる身近なエコ活動について考えてみたいと思う。